

いわて進学支援ネットワーク事業 「探究プログラム」の推進

ー本校独自のSRH(サイエンス・リサーチ・ハイスクール)事業の実施を通してー

探究プログラムの概要

1 事業の趣旨

理科・数学の学力向上と科学的思考力の育成を図るため、探究プログラム重点校における理数教科に関する探究的な学習を実施する。

2 事業内容

(1) 探究プログラム重点校においては、以下のような理数教科に関する探究的な学習を実施する。

大学教員等を招聘した講演会等、高等教育機関や研究機関への訪問、課題研究とその発表、「科学の甲子園」等の校外のコンテストへの参加 など

(2) 数学、理科等の授業改善を進める。

本校のSRH事業

1 事業の背景

本校は平成23年度から平成28年度までの6年間、SSH指定校として「持続可能な社会を担う、問題解決能力を持つ生徒を育成する教育課程と指導法の開発～普通科の高校における問題解決能力としての科学的探究力、発展的対話力、論理的思考力育成プランの構築～」という研究開発課題に向けて、学校設定科目等、数多くの幅広い取り組みに全生徒が参加する形を続けてきた。平成29年4月からは、この6年間の事業を通して得たカリキュラムや知見を踏まえ、三高独自の科学的探究活動を中心に据えた人材育成プログラムを「サイエンスリサーチハイスクール(SRH)」として開始し、本年度は第5次を迎えている。

2 事業の目的・目標

(1) 目的

「高い理想の実現に挑戦する志」と「科学的探究力」「発展的対話力」「論理的思考力」を持ち、それらを活用した「問題を自ら発見しそれを解決する実践力」を備えた社会の様々な場面でリーダーとして活躍する生徒を育成する。

(2) 目標

ア 全生徒に課題研究を実施し「論理的思考力」「科学的探究力」を育成する。

イ ディベートや参加型授業を推進し、主体的に学習する態度を養うことで「発展的対話力」を育成する。

ウ 研究者(大学、地域企業)との交流や連携を通じて「高い理想の実現に挑戦する志」と「問題を自ら発見しそれを解決する実践力」を育成する。

以上、「探究プログラム」と「SRH事業」の目的に共通する部分を認め、本校独自で進めている科学的探究活動を踏まえて探究プログラムの具現化を推進することとする。

★3年間の計画

令和3年度入学者の3年間の計画は以下の通りです。

学 年	目 標	取組内容
1年生 (R3)	身近なことや社会問題について、課題を発見する力、説明したり対話したりする力、情報を整理して発信する力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・講師招聘による講演 ・「地域」を素材に情報収集や整理分析する手法等を学習。(三陸実習含む) ・ポスターセッション等による発表活動
2年生 (R4)	1年次に育成した力に加え、論理的な思考力や多面的な見方・考え方を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・講師招聘による講演 ・「ディベート」「グループやカテゴリーごとの課題研究」に取り組み、情報収集や整理分析する手法等を学習 ・ポスターセッションによる発表活動
3年生 (R5)	1年次、2年次に育成した力をもとに、自らの進路と関連づけた知的探究心や論理的表現力を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・講師招聘による講演を実施 ・「個人ごとの課題研究(レポートの作成)」に取り組み、情報収集や整理分析する手法及び文章表現のあり方を学習

★過年度の活動風景

1年三陸実習



3年ミニ論文発表会



2年ディベート



S R H課題研究発表会



理数探究コースの課題研究発表会



国内研修（つくば方面）



海外研修（シンガポール方面）

